

第73回 函館高等学校柔道大会
兼 第72回 北海道高等学校柔道大会函館支部予選会
大会要項

主催 北海道高等学校体育連盟函館支部
後援 函館柔道連盟
主管 北海道高等学校体育連盟函館支部柔道専門部
当番校 高体連函館支部柔道専門部（函館大谷高等学校 住所：函館市鍛冶1丁目2番3号）
TEL 0138-52-1834 FAX 0138-52-1853
期 日 令和4年5月21日（土）

【5月21日（土）】

9:00	開場・会場設営
10:00	受付
10:00	男子・女子計量
10:20	専門委員会
10:30	監督・主将会議
10:45	顧問・審判会議
11:00	開会式
11:20	団体試合（女子団体試合は、男子団体試合前に行う）
12:00	女子個人試合
12:30	男子個人試合
15:30	開場復元・閉会式・表彰式

会 場 函館武道館（函館アリーナ内）
（ 函館市湯川町1丁目32番2号 TEL：0138-57-3134 ）

競技規則 国際柔道試合審判規定（2022-2024）による。

参加資格

- （1）北海道高等学校体育連盟函館支部に加入している高等学校の生徒であること。
- （2）令和4年度全日本柔道連盟・函館柔道連盟に登録している生徒であること。
- （3）平成15年4月2日以降に生まれた者。ただし同一学年での出場は1回限りとする。
- （4）転校後6ヶ月未満（全道大会を起算）ただし、一家転住等の止むを得ない場合で高体連函館支部長の許可があればこの限りではない。
- （5）参加選手は予め健康診断を受け、在学する学校長の許可を得ること。
- （6）参加資格の特例
 - ① 上記（3）のただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの年齢が19才未満の者に限る。

編 成

(1) 団体

- ①男子は、監督1名 選手5名 補欠選手1名 マネージャー1名の計8名をもって編成する。
- ②女子は、監督1名 選手3名 補欠選手1名 マネージャー1名の計6名をもって編成する。
- ③全日制課程と定時制課程の生徒による混合チームは認めない。

(2) 個人

- ①男女とも支部大会参加規定による。各階級の出場人数は限定しない。

支部代表 団体試合、個人試合とも全道高等学校体育大会規定による。

試合方法

(1) 団体

- ①参加校数により専門部で協議し、試合方法を決定する。
- ②チーム間の勝敗の決定は勝ち数の多いチームを勝ちとする。同数の場合は「一本総数」、さらに同等の場合は「技有総数」の多いチームを勝利とする。それでも同じ場合は代表選手を任意に選出し、代表決定戦を1回行い、必ず勝敗を決める（リーグ戦の場合は行わない）。
- ③リーグ戦内の勝率勝点が同一の場合は試合内容（一本・技有・指導差）を精査して順位を決定する。それでも同じ場合は対象チームは代表選手を任意に選出し、代表決定戦を1回行い、必ず勝敗を決める。
- ④試合時間は全て3分とする。延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
- ⑤「優勢勝ち」の判定基準は、「技有」又は「僅差（指導差2）以上とする。
- ⑥「技の内容」と「指導」の重みは【一本勝ち＝反則勝ち＞技有り＞僅差】の順とする。
- ⑦代表戦で両者反則負けの場合は、スコアをリセットして、延長戦（ゴールデンスコア）を行い、必ず勝敗を決する。

(2) 個人<男子>

- ①各階級とも参加人数により専門部で決定する。ただしトーナメント戦の場合、北海道大会出場権獲得のため敗者復活戦を行う。
- ②試合時間は3分とする。
- ③「優勢勝ち」の判定基準は「技有」、または「僅差（指導差2）」以上とする。技による評価が同等および指導差1以内の場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決定する。
- ④延長戦（ゴールデンスコア）の判定基準は「技あり」以上または「指導」の差により勝敗を決する。
- ⑤7階級とし、体重区分は次の通りとする。

・ + 1 0 0 kg 級	・ - 1 0 0 kg 級	・ - 9 0 kg 級	・ - 8 1 kg 級
・ - 7 3 kg 級	・ - 6 6 kg 級	・ - 6 0 kg 級	

※計量は定められた時間内に行い、体重に過不足のある者は出場を認めない。

※計量については感染症対策として次のように行う（男女とも）。

計量時の服装は、男女とも「柔道衣ズボン・Tシャツ（アンダーシャツ可）・靴下着用」とする。
そのため+1kgまでとして計量し、超える場合は通常ルールで再計量する。

(3) 個人<女子>

- ①試合方法は参加人数により専門部で決定する。
- ②試合時間は3分とする。
- ③「優勢勝ち」の判定基準は「技有」、または「僅差（指導差2）」以上とする。技による評価が同等および指導差1以内の場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決定する。
- ④7階級とし、体重区分は次の通りとする。

・ + 7 8 kg 級	・ - 7 8 kg 級	・ - 7 0 kg 級	・ - 6 3 kg 級
・ - 5 7 kg 級	・ - 5 2 kg 級	・ - 4 8 kg 級	

※計量は定められた時間内に行い、体重に過不足のある者は出場を認めない。

組み合わせ 令和4年5月16日(月)16:00～ 函館大谷高校において専門委員立会いの上、抽選を行う。

申込方法

申込期日 **令和3年5月13日(金)必着**で、メールにて送る。また学校長印を押印したものを郵送すること。(〆切以降の申し込みは原則として受け付けません。)

申込先 〒041-0852 北海道函館市鍛冶1丁目2番3号
函館大谷高等学校 内
高体連柔道大会事務局 清水 猛 宛

メール送付先 shimizu@hakodate-otani-h.ed.jp

参加料 支部大会の**参加料一人400円(高等専門学校の参加料は一人600円)**のほか、**全国高体連柔道負担金一人500円**を徴収する。5月21日(土)の受付時に納入すること。

表彰 団体試合はトーナメントの場合4校(3位)まで、リーグの場合出場校分、個人試合においては、-60kg級、-66kg級、-73kg級、-81kg級、-90kg級は各階級6位まで、-100kg級、+100kg級は各階級4位までを表彰する。女子は別途表彰する。

注意事項

(1) 選手の変更

- ①申込後、参加者に変更が生じた場合は所定の証明書(当該校長の出場承諾書)を5月21日(土)の監督・主将会議までに専門部へ届け出ること。
- ②団体試合のオーダーは5月21日(土)の開会式後に提出し、補欠選手変更以外のオーダーの変更は認めない。
- ③参加申込後の選手変更は1名を限度とする(補欠選手を優先)。ただし、伝染病・天災等による場合はこれを適用しない。
- ④競技開始時に選手変更の必要が生じた場合は、選手変更用紙に必要事項を記入して本部記録に提出し、選手変更の承諾を得て交代を行うこと。

(2) **高体連全国柔道専門部会研究調査報告誌代3,000円**(昨年度発行なし。今年度は70周年記念誌のため)を参加料と同時に納入して下さい

(3) 紅白帯は各校で用意して下さい。

(4) 持ち物・貴重品は各校で管理して下さい。

(5) 前日(20日)の会場での練習はできません。

(6) ゴミは各校で持ち帰ってください。

(7) 女子のTシャツは、白の無地または白の半袖レオタードとする。

(8) 大会役員・審判員の昼食は、当番校で用意いたします。引率教員は昼食の用意はいたしませんので、ご了承ください。

(9) プログラムは各校で印刷してお持ちください。抽選会翌日に顧問の方にメールします。

(10) 脳震盪対応について(選手及び指導者は下記事項を遵守すること)

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診療を受け出場の許可を得ること。

②大会中脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。なお至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

③練習再開に際しては脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面にて事故報告を提出すること。

(11) **新型コロナウイルス感染予防措置として、試合中の大声での指示や指導は、大会申し合わせ事項として禁止とする。**

(11) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ①大会参加2週間前より検温をし、受付時に顧問が参加者全員分（顧問・引率含む）を取りまとめて提出し、各自検温を受けること（検温表のない者は入場させない。また記入漏れがないように記載すること）。
- ②参加者の検温表に異常がある場合や以下の場合には参加を自ら取りやめること。
 - ア、体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
 - イ、同居家族や知人に感染が疑われる人がいる場合。
 - ウ、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ③会場への出入り時、および試合前後には必ず手指消毒をすること。
- ④大会参加2～1週間前に2日以内の発熱や諸症状がある場合は状態を見て可とする（3日以上は不可）。
- ⑤大会参加1週間～4日前までに1日だけ発熱や諸症状がある場合は状態を見て可とする（3日前からの発熱含む諸症状がある場合は不可）。
- ⑥大会参加後2週間も検温表を記録し、健康管理に努める。
- ⑦大会終了後の2週間以内（翌々週の同曜日の日まで）に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告し、濃厚接触者の有無等についても報告する。

（連絡先：柔道専門部 担当：清水 0138-52-1843 函館大谷高校）

（清水→大会会場（函館アリーナ）・道専門部へ報告）

- ⑧大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けることに努める。
- ⑨大会中は選手・監督・顧問ともにマスクを常時着用し、試合時のみ選手がマスクを外すことを許可する。
- ⑩こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を徹底すること。
- ⑪大きな声での会話、声出し等はしない。
- ⑫感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、指示に従うこと。
- ⑬タオル、ドリンク等は個人で用意し、共有しない。
- ⑭飲食については指定場所以外では行わず、なるべく周囲と距離を取って対面を避け、会話は行わないこと。